

# 果樹病虫害発生状況（5月）

令和2年6月10日  
福島県病虫害防除所

## 1 リンゴ（調査地点：中通り22園地、会津12園地）

### (1) 斑点落葉病

新梢葉での発生は、平年並に確認されませんでした。

### (2) 腐らん病

発生ほ場割合は、平年並でした（図1）。

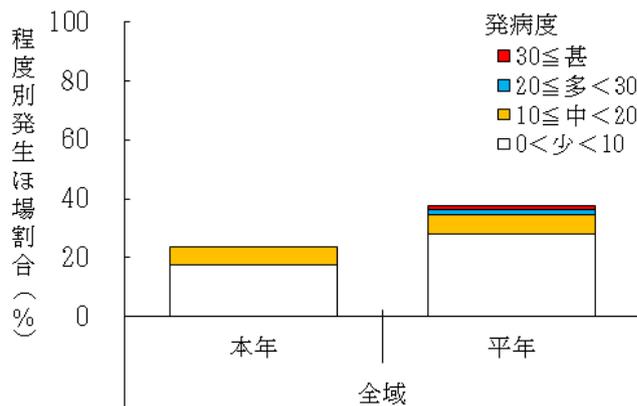


図1 リンゴ腐らん病の発生状況（5月下旬）

## 2 モモ（調査地点：福島地域9園地、伊達地域9園地）

### (1) 灰星病

花腐れの発生は、5月上旬の調査では平年並に確認されませんでした。

### (2) せん孔細菌病

春型枝病斑の発生ほ場割合（5月上旬、下旬）は、平年より高い状況でした（図2）。

新梢葉での発生ほ場割合は、平年よりかなり高い状況でした（図3）。

今後梅雨期を迎え、被害が拡大するおそれがあるため、罹病部（枝、葉、果実）のせん除を徹底するとともに、晩生種や黄肉種などで本病の発生が多い場合は仕上げ摘果後直ちに袋かけを実施しましょう。また、薬剤散布は降雨前の実施を心がけましょう（注意報第2号参照）。

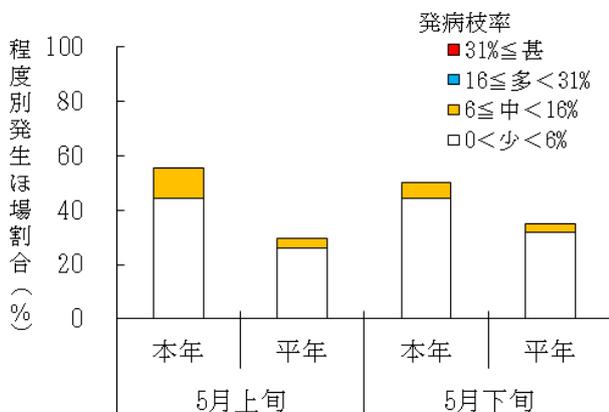


図2 モモせん孔細菌病春型枝病斑の発生状況

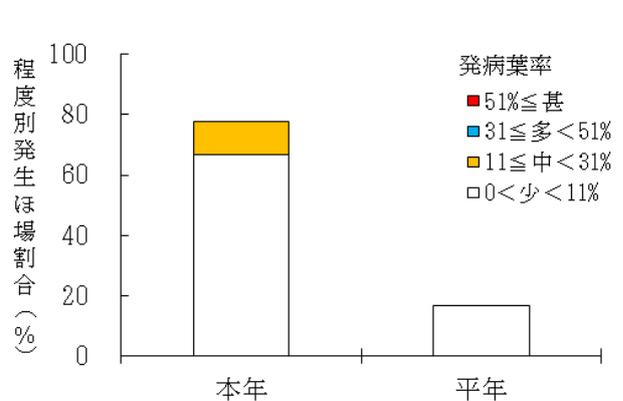


図3 モモせん孔細菌病新梢葉の発生状況（5月下旬）

### (3) モモハモグリガ

新梢葉での発生ほ場割合は、平年よりやや高い状況でした（図4）。

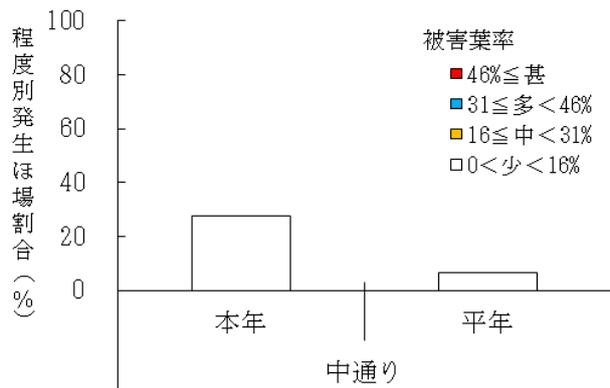


図4 モモモグリガの発生状況（5月下旬）

## 3 ナシ（調査地点：中通り 19 園地、浜通り 10 園地）

### (1) 黒星病

果そう基部での発生ほ場割合は、5月上旬の調査では平年並、5月下旬の調査では平年より高い状況でした（図5）。

新梢葉での発生は、平年並に確認されませんでした。

り病した果そう基部病斑、発病葉・果実の早期発見・早期除去を徹底するとともに、薬剤散布は散布間隔が空きすぎないように実施し、降雨前の散布を心がけましょう（注意報第3号参照）。

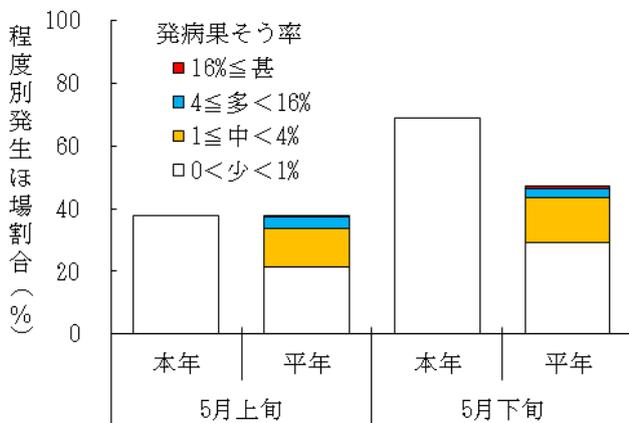


図5 ナシ黒星病果そう基部の発生状況

#### 4 果樹共通（調査地点：リンゴ 34 園地、ナシ 29 園地、モモ 18 園地）

##### (1) アブラムシ類

リンゴでは、寄生ほ場割合が平年よりやや高くなりましたが、寄生程度は低い状況でした（図6）。  
ナシでは、寄生ほ場割合は平年並の状況でした（図7）。

モモでは寄生が確認されませんでした。

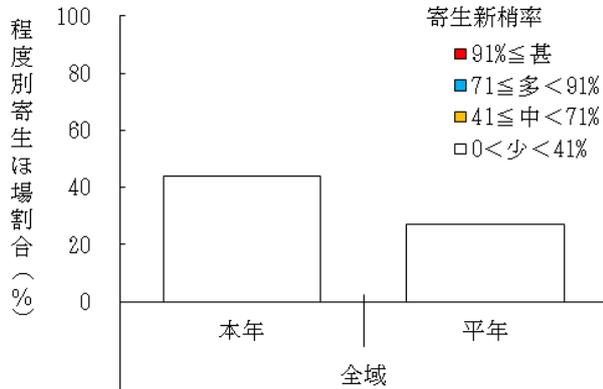


図6 アブラムシ類の新梢寄生状況（リンゴ）

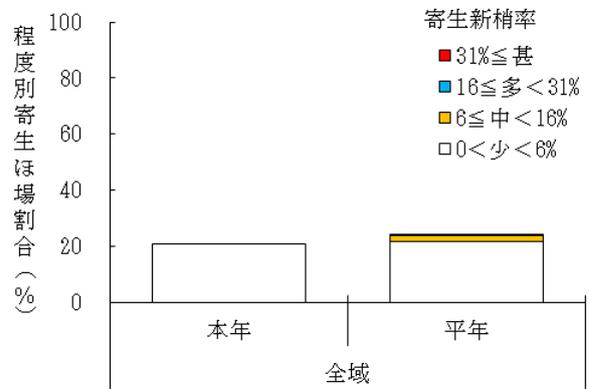


図7 アブラムシ類の新梢寄生状況（ナシ）

##### (2) カメムシ類

リンゴ、モモ、ナシの樹への飛来や果実被害（モモ）は確認されませんでした。

指標植物（サクラ）への飛来は、クサギカメムシがいわき市で、チャバネアオカメムシが石川町で確認されました。

##### (3) ハダニ類

リンゴでは、寄生ほ場割合は平年並でした（図8）。

ナシでは、浜通りでカンザワハダニの寄生が確認され、寄生ほ場割合は平年より高い状況でした（図9）。

モモでの寄生は確認されませんでした。

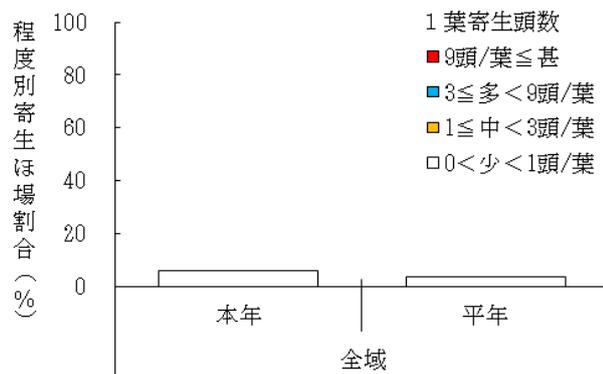


図8 ハダニ類の新梢寄生状況（リンゴ）



図9 ハダニ類の新梢寄生状況（ナシ）